



福祉

中山廣子 議員（公明党）

一人一人に寄り添った支援の拡充を 答弁…こどもに寄り添った支援を継続していく

問 児童育成支援拠点事業は、養育環境等に課題を抱える、家庭や学校に居場所のない児童等に対して、居場所となる場を提供し、個々の状態に応じた包括的な支援を行う事業である。さまざまな課題を乗り越えて、本市でも導入を検討してはいかがか。

答 市では、こども家庭センターを設置して支援を必要とするこどもの把握に努め、適切な支援につないでいる。導入予定はないが、家庭訪問等により個々の状況を踏まえて支援する子育てサポート訪問事業を継続するとともに多様なこどもの居場所づくりに取り組む。



健康

プレコンセプションケアを 軸にした取組を

答弁…計画に基づき健康づくりに取り組む

問 プレコンセプションケアとは、若いうちから男女ともに心身の健康管理に取り組む考え方である。これを一生涯の健康づくりの基礎と位置付け、切れ目のない支援や正しい知識の普及に取り組むことができないか伺う。

答 健康増進の推進に当たっては、プレコンセプションケアの視点も踏まえつつ、関係各課や団体との協力・連携を深めながら、第3次白岡市健康増進計画に基づいて取り組んでいく。



支援

寺戸睦子 議員（白和）

子育て世帯に寄り添った支援を

答弁…子育て世帯のニーズの把握に努める

問 ①市内で利用できる授乳室の現状と今後は。②総合運動公園は、おむつ替えはできるが、今後の授乳室の整備は。③子育て応援アプリ「はぴモ」のアンケート機能を活用し、的確な市民ニーズの把握に努め、子育て施策に反映させていくべきでは。

答 ①授乳施設は、市内に14か所ある。②隣接のB&G海洋センターの多目的更衣室を貸し出す。③市に寄せられる意見や保育所などの現場の声に耳を傾けるとともに、「はぴモ」を活用するなどして、子育て世帯のニーズ把握に努め、子育て施策に反映させていく。



こもれびの森の授乳室



▲はぴモ

地域

菁莪中学校の現状と今後について

答弁…地域と連携し、より良い教育環境を整える

問 ①各学年の生徒数及び学級数は。②小規模化している現状の課題は。③適正規模・適正配置実施の令和9年度までの間、現状維持で問題ないのか。④菁莪地区に対してどのようなアプローチを実施しているのか。現状の取組状況は。

答 1年1学級28人、2年1学級32人、3年2学級43人であり、現状のままでは、多様な教育環境の確保や専門性を持った教員の配置が難しくなる。教育委員会では、当該計画を策定しつつ、引き続き、地元の学校運営協議会と丁寧な意見交換を行っていく。